



盛岡中央高校  
**PTA会報**  
MORIOKA CHUO HIGH SCHOOL  
The Transaction of PTA  
Vol. 61  
令和6年12月16日  
盛岡中央高等学校  
PTA会長 及川公博  
在校生徒数919名  
〒020-0122  
盛岡市みたけ四丁目26番1号  
電話019-641-0458  
URL <http://www.chuo-hs.jp>

### 第25回CHUO国際教育フォーラム & グローバルフェスティバル

第25回CHUO国際教育フォーラム & フェスティバルは、新たな挑戦として「発表」と「交流」の2部構成で実施されました。発表部門では貧困や教育といった社会課題や最先端分野についての課題発表が多く、生徒たちが課題への理解を深め、未来に向けて共通して取り組んでいくべき課題について、各国の生徒と共有するとともに、国境を越えた共同研究実施の可能性を見出しました。交流部門では新しい試みとして、生徒がツアーコンダクターとして姉妹校生徒と一緒に盛岡市内を巡る「シティウォークin盛岡」や茶道体験、クラスルームビジットや部活動体験を行いました。さらに、保護者の皆様によるホームステイの協力を通じて、訪問生たちは温かい日本の家庭で貴重な文化交流が実現しました。ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

(国際課長/石川圭一郎)

フォーラム実行委員長の星春輝です。私は中央高校の特徴の一つである「CHUO国際教育フォーラム」に一年生の時から参加しており、先輩方の活躍する姿を見て、自分も今年のフォーラムをより良いものになりたいという思いで実行委員長を務めました。勇気を出して立候補したものの、昨年度との変更点が多く、自分に務まるか不安もありましたが、先生方やフォーラム実行委員、その他多くの方々の協力のおかげで、無事やり遂げることができました。

今年度のフォーラムでは、大きく二つの新しい活動を行いました。一つ目は、「テーマ」を「SDGs(持続可能な開発目標)」から「若者が目指す未来」に変更し、各国の生徒がこのテーマに基づいてプレゼンを行ったことです。このテーマを通じて、各国が抱える問題や課題を深く知ることができました。特に、AIの進化に伴う問題や教育、貧困についてのプレゼンを行う国が多く、とても興味深かったです。

二つ目は、盛岡市内を姉妹校の生徒に案内する「City Walk」という活動です。三つのグループに分かれて姉妹校の生徒を赤レンガ館や盛岡八幡宮に案内し、その後、みんなでわんこそば体験を行いました。初めて盛岡に来る人の視点から案内先を考慮することで、盛岡の良さを改めて感じたり、新たな発見もありました。姉妹校の生徒たちも盛岡の街に感動し、わんこそばをとっても楽しんでいました。

最後の「フェアウェルパーティー」や盛岡駅でのお見送りでは、たくさんの方が涙していたのが印象的でした。中央高校の生徒、姉妹校の生徒とともにとても有意義な時間を過ごせたと思います。最後に、今回のCHUO国際教育フォーラムにご協力いただいた先生方、実行委員の生徒たち、ホストファミリーを受け入れてくださったご家族、そしてすべての方々に心から感謝申し上げます。フォーラム実行委員長 星春輝(SONZAKI R)

### 校長



川上 圭一

今年もまた「猛暑」と評された夏からあつという間に季節が巡っています。コロナウィルス感染症から完全に解放されたわけではありませんが、皆様のご支援をいただき、本年度の本校の教育活動は円滑に推移しています。PTA会員の皆様のご協力・ご支援に心から感謝申し上げます。

さて、ここで本校の本年度前半を簡潔に振り返ります。

学校行事においては、夏休み前に開催した体育大会・昇龍祭では、生徒諸君が若人のエネルギーを遺憾なく発揮し楽しんでいる姿、弾ける笑顔が印象的でした。昇龍祭では、あいにくの雨に見舞われましたが、PTAの皆様のご協力の下、運営していただいた出店は、好評を博しました。そのうえ、売上金を生徒会会計等に寄付していただきました。御礼を申し上げます。

また、8月末には、韓国・中国をはじめとするアジア諸国に加え、アルゼンチン等9カ国から10校、そして、国内の沖縄尚学高校・岡山学芸館高校を合わせて、40名を超える教員・生徒の皆さんに参加いただき、第25回国際教育フォーラムを開催しました。本校生徒にとってグローバルな視野を養う絶好の機会となりました。国際教育フォーラムの開催にあたり

ましては、PTAの皆様にもホームステイの提供をはじめご協力・ご支援を賜り、衷心から感謝申し上げます。

部活動においては、九州で開催された全国高校総合大会に出場した柔道部・ソフトボール部・なぎなた部、全国高校総合文化祭に出場した芸術(美術)部・囲碁将棋部をはじめ、各部の生徒諸君が存分に活躍してくれました。

話題は変わりますが、9月末には、昨年度末に着手した校舎の外装工事が完了し、白とベージュを基調とした美しい校舎が姿を現しました。加えて、厨川駅側から臨む校舎の壁面に、校章と10月に公表した本校の経営母体である龍澤学館グループの「ロゴ」とともに、従来のローマ字表記CHUOから漢字表記に変えた盛岡中央高等学校・附属中学校の校名が表示されました。ひと目で本校の存在を認知していただけることと思います。

むすびに、本校の現況をお知らせします。3年生の生徒諸君は、すでに進路が決定している生徒も一部ありますが、各自の進路希望の実現に全力を傾けています。1・2年生の生徒諸君は、次代の学校を担うべく学業、部活動、生徒会活動とそれぞれの分野で着実に歩みを進めています。何かを成し遂げるには、生徒諸君各自の努力が必要であることは申し上げるまでもありませんが、PTAの皆様にも引き続き本校の教育活動へのご理解・ご支援をお願い申し上げます。ごあいさつといたします。

## Seaford Secondary College 日本文化研修



9月29日(日)～10月5日(土)の7日間、オーストラリア・南オーストラリア州アデレード市にある姉妹校 シーフード・セカンダリー・カレッジ(SSC)から、生徒15名と教員3名が本校を訪問し本校生徒と交流しました。

SSCの生徒たちは、陸前高田への震災学習や、平泉の世界遺産で日本の歴史や文化を学びました。また、本校生徒や教員のサポートによる茶道や書道体験では、交流を通して日本の文化に触れました。

SSCの生徒たちからは、「ホームステイでは、最初は言語が通じず意思疎通を図ることが難しかったけれど、時間が経つにつれてお互いの気持ちを伝え合えるようになって嬉しかった」や、「高校生が茶道を教えてくれたことにびっくりした。浴衣を着て日本庭園を散策したのは非日常的な体験だった。」と話してくれました。

本校の生徒は、「SSCの生徒たちが日本文化に強い興味と関心を持っていることを感じ、あらためて日本文化を見直すきっかけになりました。また、オーストラリアの文化についてももっと深く知りたいと思いました」と述べるなど、この訪問が相互文化理解の契機となっていることを確認することができました。



## テリー・フォックス・ラン

母の日、父の日、昇龍祭、そして10月19日のランイベントの計4回、募金活動を行い、現時点で約15万円の寄付をいただきました。

カナダの学校行事としても行われているがん研究支援のチャリティー「テリーフォックスラン」を実施しました。先日あいにくの雨の中になりましたが、ラン・イベントを実施しました。ラン・イベントでは生徒や教員と一緒に走りながら、楽しさと支援の両方を実現する貴重な機会となりました。単なる募金活動にとどまらず、チャリティーに協力する側も楽しめる本イベントは、がん治療への貢献と共に学校の一体感を育む新たな行事として根付かせていきたいと思えます。ご協力いただいた皆様に心より感謝いたします。



## 心連心から留学 中央高校一ヶ月の感想

チヨウゴエン 趙語嫣 (15Z2)

中央高校に来てもう一ヶ月経ちました。最初は学校生活に慣れるか、友達ができるか、クラスに溶け込めるかとても心配しました。しかし、学校初日から、クラスで友達ことができました。昼休みになって「買いいこう。」と誘ってくれました。それで、私はみんなと購買に行き、ドーナツを買いました。この一ヶ月間で一号館の購買にも行き、お弁当や味噌おにぎりも食べてみました。とてもおいしいです。同じ電車に乗る友達とIGRの遅延も何度か体験できました。さんざ同好会に入って、他のクラスの子とも友達になりました。中国の学校はいつも九時間までであるので、帰りが遅くなります。しかし中央は四時十五分に終わるので、学校帰りに友達とカラオケに行ったり、みんなと厨川駅近くでもんじゃ焼きとお好み焼きを食べたりすることができました。

授業の時、先生方も優しくしてください、授業中に「趙さん、大丈夫ですか。」と聞いてくれます。中国に関する話にも聞かれます。英語コミュニケーションの菊地先生が、十ぐらい前に私の中国の学校に行った時のことを話してくれました。学校の教科のなかで、一番難しいのは言語文化だと思います。古文はやったことがないので、漢文の書き方も中国と違って、全然分かりませんでした。それで、恵先生が古文の週末課題の代わりに漢字のドリルを渡してくれました。漢字のほかに、慣用語の使い方も勉強できます。漢文の返り点、一二点、上下点などを0から勉強するプリントももらいました。言文の授業で、みんなが漢文を読んでいるとき、隣の席佐々木君も私に漢文の読み方を教えてくれました。

三連休の時は、岩崎先生と奥さんが盛岡の秋祭りを見に行ったり、宮古市の海に行ったり、花巻で学校のサッカー部の試合を見に行ったり、八幡平の溶岩路を歩きに行ったり、岩手県の色々なところに遊びに連れでてくださいました。岩崎先生にいろいろお世話になりました。

来たばかりで、分からないことがたくさんありますが、学校の先生とクラスメートからいろいろ助けをいただき、本当に充実で楽しい一ヶ月が過ぎました。日本語能力の不足で書きたいことがまだいっぱいありますが、言葉にできません。この文章も文法や敬語の使い間違えがたくさんあるかもしれませんが、これからは日本語をもっと精進し、学校の皆さんともっと仲良くなりたいです。

ありがとうございます。これからもよろしくお祈りします。

(趙さんの原文のまま掲載)



### 2学年ABCコース探究学習

このたび、2年生A・R・Bコースの「総合的な探究の時間」として、MCL専門学校グループのご協力のもと、「岩手の未来を創る探究セミナー」を開催いたしました。地域企業との連携を通じて、生徒が実社会の課題解決に取り組み機会を提供することで、地域貢献意識を高め、地域社会の一員としての責任感を育むことを目的としています。また、主体的に考え行動する力を養い、将来のキャリア意識を高めることもねらいの一つです。今回のセミナーには、岩手県内に事業所を構える13社にご参加いただきました。生徒たちは4〜6人のグループに分かれ、各企業からの講話やインタビューを通じて、企業が直面している課題について深い理解を得ることができました。

生徒たちは普段とは異なる環境に少し緊張しながらも、真剣に取り組む姿が印象的でした。MCL専門学校を会場にしたことにより、生徒にとつては新しい学びの場となり、貴重な体験ができたと感じています。今後は、MCL専門学校講師によるワークショップやレビュエを通じて探究活動をさらに進めていく予定です。



通常の授業では気づきにくい課題や改善点が明らかになり、より深い学びと生徒の成長につながることを期待されます。

【参加企業・団体】岩手県議会、盛岡大通商店街協同組合、自衛隊岩手地方協力本部、株式会社JTB、株式会社サンウェイ(Jサージュー・ラヴィモア)、株式会社北日本銀行、岩手県社会福祉協議会、盛岡ターミナルビル株式会社(フエサン、ホテルメトロポリタン盛岡)、株式会社カントリー不動産、株式会社げんきやグループ、リコージャパン株式会社、サトルデザイン、JA全農いわて

### アラスカフォトライブの開催

10月5日(土)、本校体育館においてV・S・Z・Zコースの1・2年生と附属中学生を対象に、写真家松本紀生さんをお招きして行われました。松本さんは毎年、半年以上をアラスカで過ごし、大自然のオーロラや動物を写真や映像に撮り続けております。今回はその映像により、気候変動の爪痕を見て、環境教育を推進する目的で開催いたしました。

写真や映像はどれも美しく迫力があり、生徒は90分間見入っておりました。しかしながら、松本さんが一番生徒に伝えなかったことは、「結果ではなくそれまでの努力、何を成し遂げたかということよりも、どう取り組んでできたか」ということでした。厳しい自然環境の中で、何日もオーロラが出るのを待ち続けましたが、結局見る事ができなかったときも、「最高に充実した気持だった」という言葉にも説得力がありました。生徒も前向きに努力する大切さを感じたと思います。講演後の質疑・応答にも多くの質問があり、大盛況の中、終了いたしました。



### クラブ活動報告

#### 【サッカー部】

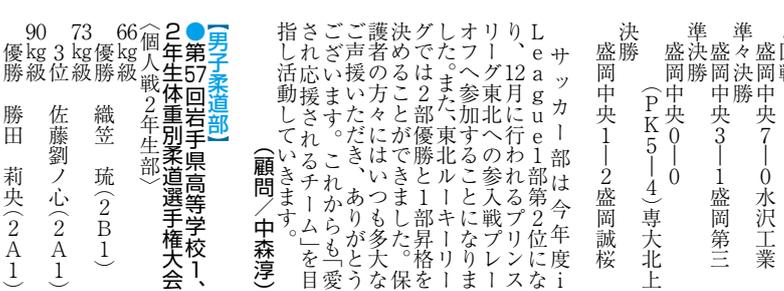
●高田宮杯 JFA U-18 サッカーリーグ 2024 岩手 Division I 第2位  
Division II 第4位  
Division III フライット 第3位  
●東北U-18リーグ 優勝  
●第103回全国高等学校サッカー選手権大会 2回戦  
盛岡中央14-0 北上翔南  
3回戦  
盛岡中央1-1 花巻東 (PK 4-3)

#### 【バスケットボール部】

準々決勝 盛岡中央2-0 江南義塾  
準決勝 盛岡中央1-3 (延長) 遠野  
●第59回岩手県高等学校新人サッカー大会 2回戦  
盛岡中央5-0 盛岡北  
3回戦  
盛岡中央7-0 水沢工業  
準々決勝 盛岡中央3-1 盛岡第三  
準決勝 盛岡中央0-0 (PK 5-4) 専大北上

#### 【男子柔道部】

●第57回岩手県高等学校1・2年生体重別柔道選手権大会 (個人戦2年生部)  
66kg級 優勝 織笠 琉(2B1)  
73kg級 3位 佐藤劉ノ心(2A1)  
90kg級 優勝 勝田 莉央(2A1)



#### 【女子柔道部】

●第59回岩手県高等学校新人柔道大会 (団体戦) 優勝  
2回戦 盛岡中央4-0 岩手高校  
準決勝 盛岡中央5-0 花巻東  
決勝 盛岡中央2-2 盛岡大学附属  
代表戦(優勢勝ち)  
(個人戦)  
60kg級 優勝 觸澤 蒼(2A2)  
66kg級 優勝 織笠 琉(2B1)  
73kg級 優勝 佐藤劉ノ心(2A1)  
90kg級 優勝 勝田莉央(2A1)  
100kg級 優勝 鳥内璃比都(2B1)  
100kg超級 優勝 根子 翔治(2B1)

#### 【陸上競技部】

●2024岩手県陸上競技選手権大会  
男子400m 6位 及川雄貴(2A1)  
男子500m 1位 尾藤寿哉(2Z2)  
男子14x400mR 5位 松本 拓(3Z1)  
清見拓真(2SZ1)  
及川雄貴(2A1)  
三澤恭汰(3A1)  
男子走高飛 6位 小野真悟(2Z1)  
●第75回岩手県高等学校新人陸上競技大会  
男子400m 7位 及川雄貴(2A1)  
男子800m 6位 及川雄貴(2A1)  
男子走高跳 3位 小野真悟(2Z1)



今年度は、8月に行われた大分県インターハイで、青山桃花(3B2)が52kg級でベスト16という結果を残すことができた。新チームで行われた新人戦では、団体戦で優勝、個人戦入賞者4名と奮闘しました。しかし、新チームとしての課題も多く残る試合内容となりました。この結果に満足せず、次の全国選手権大会の県予選では優勝を目指し、部員全員が一丸となり日々の稽古に励んでいきたいと思っております。今後とも応援よろしくお願いします。(顧問/佐々木万実)



銃剣道は比較的マイナーですが、武道として精神を鍛え、練習や遠征で仲間との絆を深めることのできるスポーツです。私は縁あって紫波銃剣道クラブで高校1年生から3年間活動してきて、最終的に目標であった国体出場も果たせ、とても意義のある経験をさせていただきました。前述の通り銃剣道は競技人口も少ないですが、見るのもするのも楽しいスポーツです。これが銃剣道を知るきっかけになっていただけたら幸いです。  
滝澤星登(3年)

**【硬式野球部】**

●第106回全国高等学校野球選手権岩手大会  
1回戦 盛岡中央6-0西和賀  
2回戦 盛岡中央9-3水沢工業  
3回戦 盛岡中央7-6一関一  
準々決勝 盛岡中央1-6花巻東  
●第77回秋季東北地区高等学校野球選手権大会盛岡地区予選代表決定戦  
盛岡中央10-0盛岡市立(3C)  
盛岡中央6-17盛岡工業  
●第77回秋季東北地区高等学校野球選手権大会  
1回戦 盛岡中央7-0花巻北  
2回戦

盛岡中央2-19一関学院(7C)  
●いわて国体記念 第8回1年生野球交流大会 盛岡地区予選  
1回戦 盛岡中央3-0盛岡工業  
2回戦 盛岡中央A7-0盛岡第一  
盛岡中央B0-3盛岡大附  
代表決定戦 盛岡中央A1-4盛岡大附

野球部は2年生22名1年生40名の62名で活動しております。夏の選手権予選では、甲子園出場の目標を達成することはできず、準々決勝で花巻東高校に1-6で敗戦するという悔しい結果でした。PTAの皆さま、在校生の皆さまにご声援いただきました。ありがとうございます。新チームは2年連続の東北大会出場を目指し秋季県大会

を戦いましたが、優勝した一関学院高校に2回戦で敗戦する結果となりました。1・2年生選手は来年の甲子園出場に向けて、チーム、個人の課題に向き合い練習に励んでいます。PTAの皆様におかれましても、引き続き野球部へのご支援とご協力、ご声援をいただければ幸いです。応援よろしくお願いいたします。(顧問/本間崇朗)

今年度も各種で好成績を残すことができました。特に国民スポーツ(佐賀県)選手権に日本ジュニアゴルフ選手権に3Z4R中野舞子・2B2佐々木ひかりが、岩手県マッテプレイ選手権(女子)では2B2新田智央が優勝するなど活躍しました。今後本校の活動だけに限らず、岩手県ゴルフ連盟をはじめ関係各位と連携し、ゴルフの発展に努めていきたいと思

**【少林寺拳法部】**

●第41回少林寺拳法岩手県大会  
古川大智(2A1)  
優秀賞  
高校生男子茶帯単独の部 最優秀賞  
本年度は東北大会にも出場せず、県大会のみへの参加となりましたが、部員たちは自分の目標達成のために精一杯努力していたと感じています。結果として、出場した部門ではすべて最高評価である最優秀賞をいただくことができました。高校生から初めて演武練習をこなし、昇級試験にも取り組み、3級まで合格して茶帯までもらうことができました。次年度以降はもっと大会参加者が増えるよう、演武練習に取り組んでまいります。(顧問/中村祐史)

中野舞子 佐々木ひかり 出場  
●全国高等学校・中学校ゴルフ選手権秋季東北大会  
男子の部  
14位 藤原天飛(1A1)  
15位 佐々木流月(2B1)  
10位 新田智央(2B2)  
11位 佐々木ひかり(2B2)  
女子の部  
2位 中野舞子(3Z4R)  
8位 佐々木ひかり(2B2)  
●第78回国民スポーツ大会(佐賀県)ゴルフ競技・女子の部

今年度のチアダンス部は、岩手ビッグブルズの試合、オープンスクール、昇龍祭国際フォーラムでパフォーマンスを披露しました。1年間披露する機会が少ないため、一つ一つの行事に全力で取り組んでいます。よりよいパフォーマンスになるように

放課後の短い活動時間のなかで、部員一人一人の努力により各自が力を伸ばしてきました。また、部員数が少なく限られた環境のなかで、各部門が力を磨き岩手での選手権大会においては優勝と上位級の合格などの成績を取ることができました。岩手大会での優勝により全国高等学校総合文化祭岐阜大会に向けて、プロ棋士によるセミナーにも参加するなどし、棋力を上げる努力を続けてきました。囲碁という一つの日本文化を受け継ぎ広めるという責任感というものを生徒は持つて取り組んできました。(顧問/平井哲也)

普段から練習に励み、部員同士声を掛け合いながらも良い雰囲気活動しています。部員が6人と少ない人数ですが、この人数を生かしたフォーメーションや振り付けを作り、皆さんに最高のパフォーマンスをお届けできるように頑張ります。(顧問/澤田裕利)

**【囲碁将棋部】**

●将棋の部  
●第43回岩手県高等学校文化連盟将棋新人大会  
(団体戦)B級  
細川昂徳(2SZ1)  
細川篤郎(2SZ1)  
細川理仁(2SZ1)  
3勝2敗  
(個人戦)B級  
細川昂徳(2SZ1)  
4勝1敗  
細川理仁(2SZ1)  
1勝4敗  
沢田篤郎(2SZ1)  
1勝4敗

●囲碁の部  
●第48回全国高等学校囲碁選手権大会  
優勝 渡邊和貴(3SZ2)  
●第48回全国高等学校総合文化祭岐阜 囲碁部門 出場  
渡邊和貴(3SZ2)  
6戦2勝4敗

今年度のチアダンス部は、岩手ビッグブルズの試合、オープンスクール、昇龍祭国際フォーラムでパフォーマンスを披露しました。1年間披露する機会が少ないため、一つ一つの行事に全力で取り組んでいます。よりよいパフォーマンスになるように

放課後の短い活動時間のなかで、部員一人一人の努力により各自が力を伸ばしてきました。また、部員数が少なく限られた環境のなかで、各部門が力を磨き岩手での選手権大会においては優勝と上位級の合格などの成績を取ることができました。岩手大会での優勝により全国高等学校総合文化祭岐阜大会に向けて、プロ棋士によるセミナーにも参加するなどし、棋力を上げる努力を続けてきました。囲碁という一つの日本文化を受け継ぎ広めるという責任感というものを生徒は持つて取り組んできました。(顧問/平井哲也)

を生かした一人一人の良さが光る合唱となりました。(顧問/加藤美津子)

**【さんさ同好会】**

●第47回盛岡さんさ踊り  
生徒62名(総勢113名)  
優秀賞(8月1日)  
令和6年度は連帯を組んでいた「さんさ甲子園」出場校が少なく、開催されませんでした。そのため、目標を出場団体の中から選ばれる入賞に変わり、練習を開始しました。清流さんさのご指導をいただき、3年生のリーダーのもと、猛進に負けず、統一の美を目指し練習に励みました。当日は掛け声も大きく、元氣と笑顔にあふれた演舞を披露できました。審査結果は「優秀賞」(2位)受賞。  
(顧問/佐々木恵)

●美術部  
●第48回全国高等学校総合文化祭 美術・工芸部門  
奨励賞 下河原陽由(3A2)  
●第47回岩手県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門  
奨励賞 下河原陽由(3A2)  
●第47回岩手県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門  
奨励賞 下河原陽由(3A2)  
●第47回岩手県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門  
奨励賞 下河原陽由(3A2)

●文化連盟  
連盟賞 下河原陽由(3A2)  
●第47回岩手県高等学校総合文化祭 書道部門  
1種「漢字・かな交じり」  
入選 兼平結心(2Z1)  
2種「漢字・かな」  
秀作賞 荒井優花(1Z1)

●吹奏楽部  
5/25(出)、ビッグブルー滝沢において、第2回定期演奏会を開催いたしました。地域の方々およそ140人にご来場いただき、多くの方にお楽しみいただき、ありがとうございました。その他、野球応援や昇龍祭でのステージ発表を行いました。部員一同、音楽を楽しむことが第一に充実した活動ができました。3年生の引退後は部長や生徒指揮を中心として生徒主体の熱心な活動を通じております。(顧問/大平達郎)

●家庭部  
家庭部は毎週月曜日の放課後にお菓子作りを中心に活動しています。7月の昇龍祭では、新メニューの8種のマフィン、の模範店を出店し、大盛況。5月のインクル子ども食堂のボランティアで、製作したカブレットが、カブレットコンテストで1位に。7月には家庭部企画で「かわいいうまさんマフィン」を

**【茶道部】**

茶道部は、週2回のお点前稽古を部室で行っています。稽古のほか、昇龍祭でのお茶席開催と、国際教育フォーラム、フェスティバルおよび姉妹校来校時にゲストをお茶席に招きました。これからも「お敬清寂」「日々是好日」を忘れず精進します。(顧問/糸井眞一)

●吹奏楽部  
5/25(出)、ビッグブルー滝沢において、第2回定期演奏会を開催いたしました。地域の方々およそ140人にご来場いただき、多くの方にお楽しみいただき、ありがとうございました。その他、野球応援や昇龍祭でのステージ発表を行いました。部員一同、音楽を楽しむことが第一に充実した活動ができました。3年生の引退後は部長や生徒指揮を中心として生徒主体の熱心な活動を通じております。(顧問/大平達郎)

●家庭部  
家庭部は毎週月曜日の放課後にお菓子作りを中心に活動しています。7月の昇龍祭では、新メニューの8種のマフィン、の模範店を出店し、大盛況。5月のインクル子ども食堂のボランティアで、製作したカブレットが、カブレットコンテストで1位に。7月には家庭部企画で「かわいいうまさんマフィン」を

●吹奏楽部  
5/25(出)、ビッグブルー滝沢において、第2回定期演奏会を開催いたしました。地域の方々およそ140人にご来場いただき、多くの方にお楽しみいただき、ありがとうございました。その他、野球応援や昇龍祭でのステージ発表を行いました。部員一同、音楽を楽しむことが第一に充実した活動ができました。3年生の引退後は部長や生徒指揮を中心として生徒主体の熱心な活動を通じております。(顧問/大平達郎)



2種「漢字・かな」  
入選 斉藤蘭(2SZ1)

●吹奏楽部  
5/25(出)、ビッグブルー滝沢において、第2回定期演奏会を開催いたしました。地域の方々およそ140人にご来場いただき、多くの方にお楽しみいただき、ありがとうございました。その他、野球応援や昇龍祭でのステージ発表を行いました。部員一同、音楽を楽しむことが第一に充実した活動ができました。3年生の引退後は部長や生徒指揮を中心として生徒主体の熱心な活動を通じております。(顧問/大平達郎)

●家庭部  
家庭部は毎週月曜日の放課後にお菓子作りを中心に活動しています。7月の昇龍祭では、新メニューの8種のマフィン、の模範店を出店し、大盛況。5月のインクル子ども食堂のボランティアで、製作したカブレットが、カブレットコンテストで1位に。7月には家庭部企画で「かわいいうまさんマフィン」を

●吹奏楽部  
5/25(出)、ビッグブルー滝沢において、第2回定期演奏会を開催いたしました。地域の方々およそ140人にご来場いただき、多くの方にお楽しみいただき、ありがとうございました。その他、野球応援や昇龍祭でのステージ発表を行いました。部員一同、音楽を楽しむことが第一に充実した活動ができました。3年生の引退後は部長や生徒指揮を中心として生徒主体の熱心な活動を通じております。(顧問/大平達郎)



2種「漢字・かな」  
入選 斉藤蘭(2SZ1)

●吹奏楽部  
5/25(出)、ビッグブルー滝沢において、第2回定期演奏会を開催いたしました。地域の方々およそ140人にご来場いただき、多くの方にお楽しみいただき、ありがとうございました。その他、野球応援や昇龍祭でのステージ発表を行いました。部員一同、音楽を楽しむことが第一に充実した活動ができました。3年生の引退後は部長や生徒指揮を中心として生徒主体の熱心な活動を通じております。(顧問/大平達郎)

●家庭部  
家庭部は毎週月曜日の放課後にお菓子作りを中心に活動しています。7月の昇龍祭では、新メニューの8種のマフィン、の模範店を出店し、大盛況。5月のインクル子ども食堂のボランティアで、製作したカブレットが、カブレットコンテストで1位に。7月には家庭部企画で「かわいいうまさんマフィン」を

●吹奏楽部  
5/25(出)、ビッグブルー滝沢において、第2回定期演奏会を開催いたしました。地域の方々およそ140人にご来場いただき、多くの方にお楽しみいただき、ありがとうございました。その他、野球応援や昇龍祭でのステージ発表を行いました。部員一同、音楽を楽しむことが第一に充実した活動ができました。3年生の引退後は部長や生徒指揮を中心として生徒主体の熱心な活動を通じております。(顧問/大平達郎)



## P T A 研 修

## ■ 春季県内中学校見学会 6月25日(火) 参加者21名 岩手県立大学、岩手大学

## 参加者の感想

- キャンパスは広く明るくてとても開放感があり、学生たちの活気があって、ここで多くのことを学びたいという意欲が感じられました。
- 説明はもちろんですが、学生さんの話も興味深く、また、校舎全体を案内していただいで大学の雰囲気や垣間見ることができました。学生さんのしっかりした様子に感心しました。
- 両大学とも理解が深まり学校見学会に参加してとても良かった。今の時代の大学入試を経験したことがない保護者にとっては、見学会前に大学入試についての説明会があるとありがたいです。100%満足でした。

## ■ 秋季県外研修旅行 10月8日(火) 参加者19名 東北学院大学・三井アウトレットモール仙台港

## 参加者の感想

- コトリエがお洒落で素敵な施設でした。礼拝堂もとても素敵で、そこで笹原さんの歌声を聴けたことは忘れられない思い出になりました。集合記念撮影もできて良かったです。
- 3年間皆勤賞で参加させて頂きました。毎回、至れり尽くせりで楽しませて貰いました。(楽しいだけではなくちゃんと大学のお話も勉強になりました)こんなに楽しい研修会なのに参加者が少ないのは本当に残念です。今日のPTA全体会で副会長と杉田先生からのPR良かったと思いました! 卒業してしましますが、バス席の余裕があったら来年以降も参加したいくらいです。娘が中央高校とご縁があったことで、私も楽しませて貰い感謝の気持ちでいっぱいです。お世話下さった先生方、本当にありがとうございました。
- 今回初参加でしたが、これまで息子の在校時には全く参加しなかったことを後悔しました。今後、日程が合えばぜひまた参加させていただきたいと夫婦で話しています。大学施設を見学する貴重な機会は、私にとっては興味深く楽しいものでした

※年2回のPTA研修では上級学校を訪問すると共に、PTA会員同士の交流を深めることを目的としています。次年度も沢山のご参加をお待ちしております。

## オープンスクール開催

CHUOの特色や魅力を体感できるオープンスクールが夏(7月)と秋(9月)に本校で行われました。夏秋あわせて約1500名の多くの中学生・保護者が参加しました。

今回は「各コースの企画」「授業体験(国・数・英・理・社)」「中央高校活動紹介」「国際交流活動紹介」「部活動体験」「学校見学ツアー」の6つの体験と午後は希望制で部活動に参加できる盛りだくさんの内容でした。



## I G Rポスター作成

今年度、高校生徒会と附属中学生徒会は、IGRいわて銀河鉄道株式会社様と共同で鉄道利用促進ポスターの作成に携わりました。初めての試みでしたが、生徒が主体となりながらどのようなポスターを作成するかからアイデアを出し合い、撮影や文字入れを行いました。何度も修正を繰り返しながら完成したポスターを見て、生徒たちも嬉しそうな表情をしていました。IGR車内にポスターが掲示される予定ですので、是非見つけてみてください。

龍澤学館グループが初めてのグループ統一ロゴを制作  
岩手県の未来創造に向けてグループ総力で取り組む

この度、中学校・高等学校や専門学校など13校を運営する、学校法人龍澤学館(本部:岩手県盛岡市、理事長:龍澤 尚孝)とその関連企業は、統一グループロゴマークを制作しました。新たなロゴマークのもと、地域社会に貢献する「龍澤学館グループ」として積極的に活動を強化します。

岩手県は、山と海の豊かな自然のもと、全国でも数少ない食料自給率100%以上を誇っています。一方で県民の幸福度は高くはなく、未来を不安視する若者の多くが県外へ流失し、人口減少が加速している現状です。今後の岩手県にとって、岩手県に生まれ育つ若者に閉塞感を感じさせず、自らの力で未来を切り開き、課題解決できるような人材に育てることは必要不可欠です。

龍澤学館グループで学ぶ学生は現在約7千名(2024年9月現在)にのぼります。岩手県の未来を創造し、リードしていく人材を育成することは、地域に根差した当グループの使命であると考えます。

また今や10年後の予測すら難しい時代となり、個別分野に特化した教育だけではなく、より広い枠組みでの人材育成が必要となります。龍澤学館は今までグループ内の教育機関それぞれの分野に合わせた教育を提供してきました。しかし、可変要素が大きい人生100年時代を迎えるにあたり、一人ひとりの生涯により添える幅広いキャリア教育が求められています。教育以外の多業種も有する龍澤学館グループは、今こそ人材育成におけるグループ共通の哲学を持ち、スケールメリットを活かすことが必要です。今回のグループロゴマークは、そのような龍澤学館グループとしての強化と意識統一を図るために制作しました。

編集  
後記

今年度は姉妹校来校やフォーラムなど海外の方との交流が多くあり、他国の文化や言葉に触れ、素晴らしいグローバル教育を体験することができました。PTA活動では県内外への研修旅行も2回実施し、とても充実した研修でした。今年度もPTA会報委員の皆様をはじめ、たくさんの方々のご協力があり、PTA会報を発行することができました。本当にありがとうございました。